

人権の広場

3月8日は「国際女性デー」

国連は1975年（国際女性年）に3月8日を国際女性の日としました。女性に対する差別撤廃と、社会開発への完全かつ平等な参加に向けた環境整備に貢献することが日本を含め各国に期待されています。

世界経済フォーラムは2024年、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表し、日本は146カ国中118位でした（2023年は146カ国中125位）。特に政治、経済分野において格差が大きい日本の状況が反映していると考えられます。国際的視野においても、日本の社会は男女の平等が進んでいるとはいえない状況です。

日本は日本の文化、社会の状況などにも配慮しつつ、国際的な概念や考え方を重視し、国際的な協調を図ることが必要です。そのためには、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中の慣

習や意識を見直し、男女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。

問合先 人権推進課

3月1日～8日は

女性の健康週間

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、厚生労働省は毎年3月1日～8日を「女性の健康週間」と定め、女性の健康づくりを国民運動として展開することとしています。

本市では、女性特有の「子宮がん」「乳がん」などの予防啓発に取り組んでいます。この機会にぜひ、がん検診を受診しましょう。

※詳しくはホームページをご覧ください。

問合先 健康推進課

人権研修講演会

混迷の時代にあつて、「生きる」意義が問われています。かつて、佐野工業高校定時制の教員として人権教育に取り組まれ、旧下瓦屋人権文化センターの館長も務められた、石垣進さんに自らの人生をかえりみつつ、「生きる」この意味を語っていただきます。

日時 3月14日（金）午後6時30分～8時

場所 旧下瓦屋人権文化センター2階

定員 80人（先着順）

講師 石垣 進さん（下瓦屋人権文化センター元館長）

問合先 下瓦屋地域協議会人権研修担当（☎090・8828・9878）

※申込不要、参加無料



消費生活センターだより

見守りリー→相談はお早めにセンターへ!!
相談受付 午前9時～午後4時30分
南海線「泉佐野」駅前 ☎469-2240

高額な前金を支払ったのに… リフォーム工事の契約トラブル

のリフォーム工事で、高額な前金を支払ったにもかかわらず、なかなか工事が進まないなどの相談が寄せられています。

- 契約する前に複数の事業者から見積もりを取り、費用だけでなく、工期や施工体制、保証内容などについても十分検討することが重要です。
- 高額な費用の全額前払いは避け、完成後の支払いを主とした契約にしましょう。
- 工事が滞った際の備えとして、遅延補償の定めなどが契約書にあるか確認しましょう。



▲イラスト：黒崎 玄

参考…（独）国民生活センター「見守り新鮮情報第491号」

困った時は、消費生活センターにご相談ください。

● 外壁や屋根などの戸建住宅

【ひとことアドバイス】

得できない。（60歳代）

泉佐野市に在住する小・中学校の児童・生徒から多くの人権作品が寄せられ、
昨年末に入賞者が決定し、賞状が送られました。

そのなかの最優秀賞受賞作品の一部を紹介します。(順不同・敬称略)

問合先 学校教育課

【読書感想文】

「だいじょうぶだよ、おじいちゃん」

第三小学校4年生 安田芙蓉

わたしは、「だいじょうぶ だいじょうぶ」という本を読みました。この本をえらんだのは、題名が気になったからです。どんなことがだいじょうぶなのか、気になったからです。それでこの本を選びました。

この本で、「ぼく」はいじめられたりすることや、事故にあったりすることを知って不安になります。そんな時に、おじいちゃんは「だいじょうぶ。だいじょうぶ。」と、声をかけてくれます。おじいちゃんは「ぼく」に対して、いじめられたりするときには、無理して仲良くしないでいいんだよと言っていました。事故にあったりすることには、わざとぶつかってくるような車やひこうきはめったにないと教えていました。それを聞いてわたしは、まだ出会ってないことに対して不安に思いすぎるのではなく、自分の思う通りに生きていけばいいんだなと思いました。それに気づかせてくれたのは、おじいちゃんが「ぼく」のことを心から考えていたからだと思います。

このお話の「ぼく」といっしょで、わたしは毎日のようにじいちゃんと犬のさんぽに行っていました。犬のうんこをとったり、知らない人にあいさつしたり、知らない道を歩いたりしました。それができたのは、おじいちゃんがいっしょにいてくれたおかげです。

わたしは、とても心配しょうで、小さい時におじいちゃんのすがたが見えなかったら、泣きさけんでいました。となりの家に、インターホンをならしに行ったこともありましたが、でも大きくなった今では、知らない人にあいさつをしたり、一人でお買い物に行ったり、るすばんができるようになりました。じいちゃんがいなくてもいろいろなことができるようになりました。それでも、まだじいちゃんにしてもらっていることはたくさんあります。父ちゃんや母ちゃんはお仕事で家に帰ってくるのがおそいから、せんたくやばんご飯はじいちゃんがしてくれています。毎日いろいろしてくれるじいちゃんに、えらそうに言われると、つつい言い返すことがあります。でも、ほんとには大好きだし、ありがとうございます。

わたしは、ずいぶん大きくなりました。おじいちゃんは、ずいぶんとしをとりました。だから今度は、わたしがおじいちゃんにおかえしをする番です。じいちゃんがやってくれている家事のお手伝いをしたり、他にもじいちゃんのことを助けたいです。だいじょうぶ。だいじょうぶ。だいじょうぶだよ、おじいちゃん。

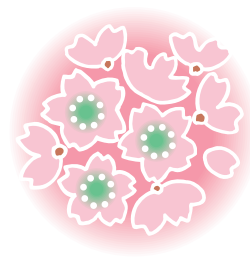
【標語】

差別なき 未来を作る 私たち

日新小学校5年生 山本夢己

気づこう 見えないところにある 差別

日根野中学校1年生 横井真由



小・中学校人権作品 人権について考えよう

【詩】

「じんけんってなあに」
第一小学校1年生 浅利樹輝

じんけんってなあに
がっこうでせんせいがおしえてくれた
わかったけどなんだかむずかしかった

じんけんってなあに
うちでおかあさんにきいてみた
おかあさんといっしょに
インターネットでしらべてみた
じぶんらしくしあわせに
いきることってかいてあった

しあわせにいきると
どういうことなんだろう

いっしょうけんめいかんがえたけど
やっぱりよくわからないし
なんだかむずかしい
でもたいせつなことのようなきがする

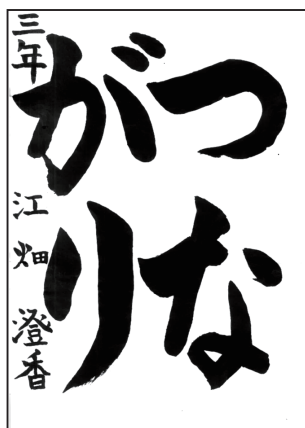
ぼくはたのしいとおもうことがしあわせ
がっこうにいくこと
ともだちとあそぶこと
ゲームをすること
キーボードをひくこと

おかあさんとおはなしすること
どれもたのしくてうれしいきもちになる

たのしいをいっぱいあつめたら
しあわせにいきるとことになるのかなあ

やっぱりよくわからないし
なんだかむずかしいけど
そうだったらいいなあ

▶第一小学校3年生
江畑澄香



▶第一小学校6年生
河崎優希乃



【ポスター】

▶佐野中学校3年生
鈴木美羽



【書道】

▶佐野中学校1年生
長谷川乃愛瑠

